

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	上位目標：女性・青少年の生活向上及び経済的自立の促進 5期及び6期職業訓練の修了者を対象に、起業・就業調査を実施したところ、初級または中級修了者のうち78.8%が就職または起業をしており、『女性・青少年の生活向上及び経済的自立の促進』という上位目標に対して成果が出ていることが分かった。 縫製分野：修了生のほとんどが、自宅での仕立て仕事や、仲介業者からの仕立ての内職により、月に約80～130万キップの収入を得ていた。(起業・就業率：83.3%) 理美容分野：自宅の一部を改装して美容室を開くものが多く、収入は約60～150万キップだった。(起業・就業率：75.0%) 調理分野：この分野は起業資金が大きいとため、就業者が多い。プーピア鉱山のレストランや軍隊の食堂、ナーサイトン郡内のレストランに就業するものが多かった。(起業・就業率：79.4%) 5、6期生は、積極的に起業や就業を目指すものが多く、卒業前から開業のための資機材の購入等をするものも多く、1、2年次と比べて起業・就業率が高かった。当会トレーナー及びナーサイトン郡教育課トレーナー（公務員トレーナー）、ナーサイトン郡教育課トレーナー候補（公務員候補トレーナー）も、美容器具や中古ミシンの購入先等を訓練生に紹介した。 安定した収入を得ることで、生活水準が向上させることができたことは、訓練修了生にとっても大きな自信となっているようであった。 5、6期生の中には別の分野の訓練修了生が数名いた。今回新たな分野の訓練に参加し、既に起業している美容室または仕立業をしながら、更に仕立業、美容室、おかず販売等を追加することで、収入を向上させるのがねらいである。
(2) 事業内容	(イ) 縫製、理美容、調理の3分野の職業訓練を実施 1、2年次同様、3年次も縫製、理美容、調理の3分野の職業訓練を2期実施した。1期は初級コース2ヶ月、中級コース3ヶ月から成り、1年次から通算すると、3年次は5期および6期目の職業訓練となった。 職業訓練修了者数 5期修了生数は、初級62名、中級51名であり、6期修了生数は初級56名、中級42名であった。当会の奨学金は5期初級の5名に全額、1名に半額、中級は6名に全額、1名に半額支給した。6期は初級6名、中級4名に全額支給した。 専門家による特別訓練 調理分野では5期中級で日本人専門家を招聘し、2週間和食の訓練を実施した。理美容分野では5期および6期とも日本人理美容専門家（2週間）、ラオス人の理美容専門家（1週間）、ヘアカット専門家（5期1日、6期2日間）およびマッサージ専門家（2週間）による訓練が行われた。縫製分野では5期および6期とも、地元で紳士服店を営む専門家による紳士服の指導が1ヶ月間実施された。 調理分野の日系工場への昼食弁当販売 調理分野中級コースで日本料理を学んだ後、ナーサイトン郡の日系3工

場へ松花堂弁当の配達を行った。5期は日本人専門家の指導の元、2日間で60食、6期はナーサイトントレーナーと訓練生のみで、2日間で24食を販売した。

理美容分野のヘアカットボランティア

理美容分野では、5期、6期とも郡内の小学校においてヘアカットボランティアをそれぞれ1日ずつ実施した（5期は2校、6期は1校）。

分野別スタディーツアー

5期および6期とも各分野別にスタディーツアーを実施した。資機材の購入先、ラオス人専門家の店、縫製工場、ホテルの厨房等とともに、IV-JAPAN 上級コース（OJT）2ヶ所の見学も行った。

上級コースオリエンテーション

5期、6期とも中級コース後半に、上級トレーナーをナーサイトンセンターに招き、上級コースのオリエンテーションを実施した。

（ロ）起業、就業についての支援

5期、6期の修了生は、自分で積極的に起業・就業を目指すものが多かったため、トレーナーや各分野の専門家が起業や就業の手助けを行った。縫製分野の訓練生には、当会のミシンローンやナーサイトンにある中古ミシンの購入先を紹介した。縫製分野から上級に進んだ5期生1名の就業先について、縫製専門家に相談し、ビエンチャン特別市内の仕立屋の紹介を依頼した。理美容分野ではトレーナーが資機材の購入先や起業の方法について指導した。調理分野はトレーナーがナーサイトン内のレストランを紹介し、4名が就業した。TOT 修了生でナーサイトンセンターの公務員トレーナー希望者に対し、公務員トレーナーが進路相談を実施した。

（ハ）職業訓練トレーナー養成

教育省学校外教育開発センターに依頼し、3週間のTOT（トレーナー養成講座）を実施した。ナーサイトンセンターの修了生6名を含む、計9名がTOTを履修し、修了した。

（二）職業訓練センターの管理運営能力の強化

3年次事業終了後のハンドオーバーのために、郡教育課コーディネーター、公務員トレーナー及び公務員トレーナー候補と協力してセンターの運営管理を行い、郡教育課の管理運営能力の強化に努めた。

訓練生確保のための広報活動

6期訓練開始後、郡教育課コーディネーター主導で、クラスター及び郡事務所等への訓練生募集のための広報活動を行った。応募者への対応や名簿管理は郡教育課コーディネーター及びトレーナーが行った。

訓練費による教材購入とその管理

3年次は訓練生からの学費のみで教材購入を行った。2年次までは教室に保管されていた教材をセンター事務所に移し、その度払い出しを行うようにした。5期より教材の払い出しは、当会フィールドオフィサーと郡教育課コーディネーターが共同で行った。また6期からは郡教育課コーディネーター、公務員及び公務員候補トレーナー、公務員訓練生に対し、当会現地事業責任者およびフィールドオフィサーが経費及び帳簿管

	理を指導した。また既にハンドオーバーされているビエンチャン教育局の初級中級コースの管理運営者に経費管理の指導を依頼し、実施した。 <u>電気水道代、始業修了式の開催</u> 2年次はナーサイトンセンターの電気代及び水道代を、郡教育課と折半したが、3年次は郡教育課が70%、当会が30%とした。2年次に引き続き、3年次の始業式及び修了式は郡教育課で行った。6期からは郡教育課コーディネーターとトレーナーが式を取り仕切った。 <u>公務員トレーナー及び公務員候補トレーナー主導での訓練</u> 縫製分野は5期より公務員トレーナー主導で、理美容分野は6期より公務員候補トレーナー主導で訓練を行った。 <u>調理分野の公務員トレーナーの確保</u> 郡教育課の公務員が、5期よりナーサイトンセンター調理分野の訓練に参加したが、夫の志望により辞退した。6期からは、別の学校で調理分野の職業訓練を受けた経験がある郡教育課の公務員が、ナーサイトンセンターにおいて初級より訓練に参加した。																																																																																					
(3) 達成された成果	<u>成果（イ）縫製、理美容、調理の3分野の職業訓練を実施</u> <u>指標イ-1：職業訓練修了者数が初級60名、中級48名を超える</u> 3年次は5、6期訓練を実施した。訓練修了生数の実績は、5期生が初級、中級で目標人数を達成したのに対し、6期生では入学者は63名あったが、修了者数は初級56名、中級42名だった。 <table><tr><td></td><td>コース</td><td>縫製</td><td>理美容</td><td>調理</td><td>合計</td><td>目標達成度</td></tr><tr><td rowspan="3">5期</td><td>入学者</td><td>21</td><td>26</td><td>16</td><td>63</td><td>－</td></tr><tr><td>初級</td><td>21</td><td>25</td><td>16</td><td>62</td><td>103.3%</td></tr><tr><td>中級</td><td>18</td><td>20</td><td>13</td><td>51</td><td>110.9%</td></tr><tr><td rowspan="3">6期</td><td>入学者</td><td>18</td><td>26</td><td>19</td><td>63</td><td>－</td></tr><tr><td>初級</td><td>15</td><td>23</td><td>18</td><td>56</td><td>93.3%</td></tr><tr><td>中級</td><td>12</td><td>15</td><td>15</td><td>42</td><td>91.3%</td></tr></table> 6期で100%に達しなかったのは、大雨による通学困難、病気や交通事故による怪我、早産などで、中途退学者が出たためである。 <u>指標イ-2：職業訓練修了者の70%以上が起業・就業する</u> 5期及び6期の初級または中級修了者の起業及び就業率は、それぞれ75.8%、82.1%であり、目標を達成した。（平均78.8%） 5期 <table><tr><td>分野</td><td>訓練修了者数</td><td>起業・就業者数</td><td>起業・就業率</td></tr><tr><td>縫製</td><td>21</td><td>16</td><td>76.2%</td></tr><tr><td>理美容</td><td>25</td><td>19</td><td>76.0%</td></tr><tr><td>調理</td><td>16</td><td>12</td><td>75.0%</td></tr><tr><td>合計</td><td>62</td><td>47</td><td>75.8%</td></tr></table> 6期 <table><tr><td>分野</td><td>訓練修了者数</td><td>起業・就業者数</td><td>起業・就業率</td></tr><tr><td>縫製</td><td>15</td><td>14</td><td>93.3%</td></tr><tr><td>理美容</td><td>23</td><td>17</td><td>73.9%</td></tr><tr><td>調理</td><td>18</td><td>15</td><td>83.3%</td></tr><tr><td>合計</td><td>56</td><td>46</td><td>82.1%</td></tr></table>		コース	縫製	理美容	調理	合計	目標達成度	5期	入学者	21	26	16	63	－	初級	21	25	16	62	103.3%	中級	18	20	13	51	110.9%	6期	入学者	18	26	19	63	－	初級	15	23	18	56	93.3%	中級	12	15	15	42	91.3%	分野	訓練修了者数	起業・就業者数	起業・就業率	縫製	21	16	76.2%	理美容	25	19	76.0%	調理	16	12	75.0%	合計	62	47	75.8%	分野	訓練修了者数	起業・就業者数	起業・就業率	縫製	15	14	93.3%	理美容	23	17	73.9%	調理	18	15	83.3%	合計	56	46	82.1%
	コース	縫製	理美容	調理	合計	目標達成度																																																																																
5期	入学者	21	26	16	63	－																																																																																
	初級	21	25	16	62	103.3%																																																																																
	中級	18	20	13	51	110.9%																																																																																
6期	入学者	18	26	19	63	－																																																																																
	初級	15	23	18	56	93.3%																																																																																
	中級	12	15	15	42	91.3%																																																																																
分野	訓練修了者数	起業・就業者数	起業・就業率																																																																																			
縫製	21	16	76.2%																																																																																			
理美容	25	19	76.0%																																																																																			
調理	16	12	75.0%																																																																																			
合計	62	47	75.8%																																																																																			
分野	訓練修了者数	起業・就業者数	起業・就業率																																																																																			
縫製	15	14	93.3%																																																																																			
理美容	23	17	73.9%																																																																																			
調理	18	15	83.3%																																																																																			
合計	56	46	82.1%																																																																																			

成果（ロ）ラオス人及び日本人専門家による指導と課外活動実施

縫製分野：5期、6期とも1ヶ月間、ラオス人専門家による紳士服の指導が実施された。訓練生の技術向上だけでなく、女性であるトレーナーの紳士服技術も向上した。5、6期は訓練生が作成した衣類を、ナーサイトンや当会ビエンチャン本部のOJT店等で販売した。売り上げは教材購入費やセンターの管理運営費にあてた。ハンドオーバー後のセンター管理運営費を確保する一つの手段であるとともに、訓練生の自信、やる気にもつながった。

理美容分野：5、6期とも日本人専門家およびラオス人専門家による指導が行われた。ラオス人理容専門家によるヘアカットの指導が行われ、郡内の小学校でヘアカットボランティアが実施された。5期は93名、6期は114名のヘアカットを行い、ヘアカット技術が向上した。また6期は公務員候補トレーナーの発案で、日本人専門家の指導の元、ヘアスタイリングとネイルアートのコンテストを実施した。センターの職員及び他分野の訓練生全員が審査員となり、理美容分野訓練生の技術を競ったが、技術の進歩だけでなく、普段交流が少ない分野間での団結も強まった。

調理分野：5、6期ともに中級コースで日本料理を学んだ後、郡内の日系工場3ヶ所へ松花堂弁当の配達を行った。5期は日本人専門家の指導の元60食（240万キップ）、6期はナーサイトントレーナーと訓練生のみで24食（96万キップ）を販売し、工場に勤務する日本人や、日本に留学経験のあるラオス人日本語通訳、秘書、エンジニア等からも好評を得た。訓練生にとって大きな自信となっただけでなく、ハンドオーバー後のセンター管理運営費を捻出する一つの手段が得られた。

成果（ハ）上級コースへの進学

3分野別でのスタディーツアーでは当会上級コース2ヶ所の見学を取り入れ、また上級コーストレーナーによるオリエンテーションも行った結果、5期生7名、6期生11名が上級コースに進学した。

成果（二）職業訓練センターの管理運営能力の強化

トレーナー養成講座を5名が履修する

9月にTOT（トレーナー養成講座）を実施した。ナーサイトンセンターの修了生は、縫製分野1名、理美容分野1名、調理分野4名の計6名がTOTを履修、修了した。

公務員または公務員候補トレーナー主導での訓練実施

縫製分野は5期より公務員トレーナー主導で、理美容分野は6期より公務員候補トレーナー主導で、訓練計画、教材購入リストの作成および訓練を行い、当会トレーナーは助言及びサポートを行った。また既に初級・中級コースがハンドオーバーされているビエンチャン教育局の運営管理者、公務員トレーナーとナーサイトンセンタートレーナー（当会、公務員、公務員候補）が訓練計画、評価基準についての話し合いを行い、同一の訓練計画作成と同じ基準での訓練生評価の実施を決めた。

訓練費での教材購入と教材管理

3年次は訓練生からの訓練費のみで教材購入を行い、運営費の一部も賄

	った。5期より教材はセンター事務所で管理し、払い出しは当会フィールドオフィサーと郡教育課コーディネーターが共同で行った。6期からは当会現地事業責任者とフィールドオフィサーが、教育課コーディネーターと公務員、公務員候補トレーナー、公務員訓練生（調理）に帳簿の付け方を指導し、全員が帳簿をつけられるようになった。また6期修了時点で教材費は黒字であり、訓練費で教材購入が可能である事が証明された。 訓練生確保のための広報活動 6期訓練開始後、郡教育課コーディネーターが中心となって、次期訓練生確保のための広報活動を実施した結果、6期開始後から次期訓練への応募者が順次集まって来ている。
(4) 持続発展性	本事業は全体で3年間にわたる事業の最終年度にあたるため、これまでの活動を通して達成された成果を持続させるとともに、受益者であるナーサイトン郡の住民がこれからも継続して職業訓練を受けられるように、そして本センターの訓練がより質の高いものへと発展していけるように、郡教育課との連携を強化した。 郡教育課へ本センターをハンドオーバーした後、センターを持続的に運営するためのカギは、 ①各分野のトレーナーの確保 ②訓練生の確保 ③教材費及び運営費の管理 である。 ①各分野に公務員トレーナーを配置する 3年次より縫製分野のトレーナー1名がナーサイトン郡の公務員となった。3年次終了後、理美容トレーナー1名がナーサイトン郡の公務員に採用されることが確定している。調理分野はナーサイトン郡教育課公務員がナーサイトンセンターでの職業訓練に参加し、上級コースを修了後は公務員トレーナーとなる予定である。これにより各分野1名ずつの公務員トレーナー確保が確実となった。 ②訓練生確保のための広報活動 6期訓練開始後、郡教育課コーディネーター主導で、クラスター及び郡事務所等への訓練生募集のための広報活動を行った結果、次期訓練への応募者が順次集まって来ている。また郡駐屯地への広報活動や訓練修了生の口コミによる応募者も多いため、訓練生にも広報活動をお願いしている。応募者への対応や名簿管理は郡教育課コーディネーター及びトレーナーが協力して行う。 ③訓練費での教材購入と教材管理 3年次より訓練生からの訓練費のみで教材購入を行った。ナーサイトンセンターの訓練費は、ビエンチャン教育局初級・中級コースの訓練費より安い、物価は同等なので教材の無駄をなくすために、5期より教材はセンター事務所で管理し、教材の払い出しは当会フィールドオフィサーと郡教育課コーディネーターが共同で行った。6期より当会現地事業責任者とフィールドオフィサーが、教育課コーディネーターと公務員、公務員候補トレーナー、公務員訓練生（調理）に帳簿の付け方を指導した結果、全員が帳簿をつけられるようになった。また6期終了時点で黒

	字決算となり、訓練費で教材購入が行えることが証明された。ハンドオーバー後は訓練費をビエンチャンと同額にして、センターの運営費も捻出するとともに、ビエンチャン教育局の助言を受けながら、教材購入費とセンター運営費を管理していく。 その他、訓練計画の作成や訓練生の評価、トレーナーの技術力強化等はビエンチャン教育局と常に連携することで、同じ水準で職業訓練が実施されるように努める。 本事業終了後、１１月より次期職業訓練を、ビエンチャン教育局の初級及び中級コースと同じスケジュールで実施する予定である。また、当会の奨学金制度、ミシンローンは継続して実施する。
--	--